

商談会&TEJ2018

TEJ2018を機に商談会 ブースでは多様な中国の魅力を紹介

中国文化・旅游部は9月20日から4日間にわたって開催された「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)2018」を前に、都内で商談会を開催。TEJでは13省2市がそれぞれの魅力をアピールしました。

「中国観光商談会2018」 青少年交流の拡大へ

中国文化・旅游部は9月19日、東京・高輪のグランドプリンスホテル新高輪で「中国観光商談会2018」を開催しました。

中国文化・旅游部の張西龍巡視員をはじめとする旅游代表团の来日したのに合わせて開催されました。

旅游代表团には、吉林省、山東省、上海市、湖南省、江蘇省、黒龍江省、広東省、天津市、貴州省、河南省、内モンゴル自治区、浙江省、四川省、遼寧省、湖北省の13省2市から各旅游局が参加し、意見交換や商談が活発に行われました。

2018に参加するため、中国

活発に意見交換などが行われた「中国観光商談会2018」



中国文化・旅游部の張西龍巡視員 JATA海外旅行推進部の権田昌一郎部長

125%を超えていた」と語り、今回の商談会やTEJ2018を通じて、旅行業界として訪中旅行の活性化に向けた取り組みを強化することへの意欲を表明しました。

TEJ2018

各省発表でブースは大賑わい

9月20日から23日まで東京・有明の東京ビッグサイトで開催されたTEJ2018の中国

ブースには、中国文化・旅游部の旅游代表团に参加した13省などが出展。4日間にわたって展示商談会やステージイベントなどをを行い、最新情報の発信とともに各省の様々な魅力をアピールしました。

中国駐東京観光代表処が開するマーケティング戦略「三歩五眼」でテーマの一つである『三

で日本からの教育旅行を受け入れる体制も充実してきていた」と、教育旅行の拡充を通じた青少年交流拡大への道筋を示しました。



中国ブース内のステージで披露された少数民族の踊り



展示会場内で存在感を示した中国ブース



多くの来場者で賑わう中国ブースのイベント

国志」の舞台・湖北省は、赤壁の古戦場跡や劉備と諸葛亮が出会う「三顧の礼」の舞台である遺産を4つも持つ貴州省は、秘境のイメージを維持しつつも、交通インフラの整備によって訪れる場所に変わってきていたことを強調しています。また、ステージでは、世界無形文化遺産であるトン族の合唱やミヤオ族の踊り、少数民族の伝統楽器による演奏なども披露され多くの来場者が中国ブースに立ち寄って、バフォーマンスを楽しんでいました。

中国駐東京観光代表処